### 2021年度事業報告及び決算関係書類承認の件

本議案の議決に関しては、趣旨に反しない範囲の字句の修正は理事会にご一任ください。

#### 2021年度事業報告

#### はじめに

2022年2月24日、ロシア軍によるウクライナへの武力侵攻が開始されました。今回の一連の行為は、武力行使を禁止する国連憲章に対する重大な違反であり、ウクライナ市民の生命を奪い国際社会の平和と秩序を脅かすものです。さらに、プーチン大統領が核兵器使用を示唆したことは、核兵器廃絶の取り組みを続けている日本の生活活協同組合として断じて容認することはできません。軍事力強化の論議を求める意見も持ち上がっていますが、外交努力による解決を求めていきます。

新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種が進み一旦終息の兆しが見えたものの新たに変 異株の感染が拡大し未だ出口の見えない不安な状況が続きました。

変異株のまん延により感染拡大「第5波」と「第6波」に直面しました。特に2022年1月から感染者が急増し「まん延防止等重点措置」が発令されましたが、1日当たりの感染者が1,000人を超える状況となりました。

長引くコロナ禍は深刻な経済危機をもたらし、経済的な格差が広がりました。

非正規雇用で働く人々がより厳しい状況におかれ社会の分断が拡大しています。また、医療 現場では医療体制が危機的な状況に陥り、消費者のくらしも甚大な影響を受けました。

私たちは、SDGsがめざす「誰一人取り残さない」持続可能な社会をつくるため、各会員生協が力を発揮し協力して活動を進めました。

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大は、群馬県でも2021年8月20日から9月30日まで 緊急事態宣言が発令、第6波の2022年1月21日から3月21日までまん延防止重 点措置が発令され、生協の事業や活動に大きな影響を与えました。
  - 昨年に続き大学生協、医療生協、県庁生協では、リモート授業 (構内立ち入り禁止)、通常診療の減少、在宅勤務などの影響を受け厳しい事業状況となりました。特に経営が厳しい群馬大学生協には県連会費減免措置を実施しました。
  - その中でも、それぞれの生協が役割を発揮し、組合員、学生、消費者の健康と暮らしを 支える事業・活動を進め、会員生協ではWebを活用した様々な企画等が取り組まれま した。
- (2) 新型コロナウイルス感染収束の見通しが立たない中、経済的な格差の拡大による貧困が 社会全体の課題となっている中、会員生協では貧困や不平等の解消、持続可能な経済・ 社会の実現等の目標達成に貢献するため、様々な団体と連携しながら、食料支援・生活 相談会など命とくらしを守る活動が進められました。
- (3) 6月の通常総会は新型コロナウイルス感染防止の観点から、書面議決を中心に開催しました。
  - フートピア 2 1 (JA群馬中央会・群馬県森林組合連合会・群馬県生活協同組合連合会 との協同組合間連携組織)では、利根沼田地域で今後の地域での協働した活動の具体化 について話し合いが始まりました。

#### 1. 消費者政策課題について

- (1) 前橋市消団連、群馬県消団連の活動
- ○5月17日(月)付けで書面により前橋市消団連第46回定期総会が開催され、7団体・個人の12名が書面議決に参加し、全議案とも全員の賛成で承認されました。
- ○5月27日(火)付けで書面により群馬県消団連2021年度定期総会が開催され、14 団体18名が書面議決に参加し、全議案とも全員の賛成で承認されました。総会では消費 者行政の充実・強化、食の安全、福島支援、憲法・環境問題などの取り組み方針を確認し ました。
- ○消費者大会実行委員会が提出した群馬県行政への要望に対する回答説明会は、中止となり 書面での回答となりました。
- ○10月26日(火)付けで書面により第65回群馬県消費者大会が開催され、23団体 99名が参加して、全市町村の消費者行政調査の実施、群馬県への要請提出と回答などの 取り組みについて確認されました。
- ○「消費者被害の防止及びその回復の促進を図るために特定商取引に関する法律等の一部を 改正する法律案」が6月9日 参議院本会議で可決・成立しました。 群馬県消団連では、法案成立に向け「悪質商法による消費者被害をなくすために、預託法 の改正及び執行強化、並びに特定商取引法の改正及び執行強化を求める意見書」を請願と して提出し、全会一致で採択されました。
- (2) 適格消費者団体・消費者支援群馬ひまわりの会の活動
- ○5月22日(土)にNPO法人消費者支援群馬ひまわりの会第40回定期総会が実出席人数を絞り開催されました。総会では2020年度事業報告と2021年度事業計画を確認しました。
- ○県連加盟生協に対して、ひまわりの会への加入要請は進みませんでした。
- (3) 行政との連携や協働
- ○群馬県消費生活問題審議会に中村会長が参加し、群馬県の消費者施策について審議会委員 として意見表明を行いました。
- ○9月30日(木)に沼田市と利根保健生協で「地域見守り活動に関する協定」を締結しま した。
- ○群馬県生協連として特殊詐欺撲滅のための群馬県全体の施策に参画しました。
- (4) 会員生協の取り組み
- ○コープぐんまでは、県消費生活課の消費者支援・防犯係の方を講師に、迎え組合員を対象 とした「成人年齢引き下げに伴う消費者被害」の学習会を開催しました。

#### 【用語説明】

- ※消費者支援群馬ひまわりの会:1982年4月サラ金被害者の会として発足。2008年特定非営利活動法人として法人格取得。2014年4月定款変更し適格消費者団体を目指す活動開始。2014年12月に特定非営利活動法人消費者支援群馬ひまわりの会に名称変更。弁護士会、司法書士会、生協連等が参加。
- ※「群馬県振り込め詐欺等根絶協議会」から「群馬県特殊詐欺等根絶協議会」に名称変更 群馬県特殊詐欺等根絶協議会:金融機関、通信事業者、ATM設置小売業者、宅配事業者、旅客運送事業者、 地域見守り支援事業実施事業者、高齢者等消費者被害防止対策連絡協議会構成員、協力団体、学識経験者等 で構成。

#### 2. 食品安全にかかわる課題について

- (1) ぐんま食の安全・安心県民ネットワーク
- ○6月29日(火)付けで書面により第15回ぐんま食の安全・安心県民ネットワーク総会が開催され、10団体・個人の12名が書面議決に参加し、全議案とも全員の賛成で承認されました。

- ○連携団体・会員生協を通じて、令和4年度群馬県食品衛生監視指導計画に対して意見(パブリックコメント)提出しました。群馬県へはぐんま食の安全・安心県民ネットワークから、前橋市へは前橋市消費者団体連絡会とコープぐんまからそれぞれ提出しました。
- (2) 群馬県食品・生活衛生課との協働事業の取り組み
- ○産学官連携による食の安全理解促進事業を学生向けに実施しました。今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、バス移動を伴う工場見学、店舗視察などは中止とし、オンラインを使用した学習会を開催しました。
- ○高崎健康福祉大学と連携:
- ・11月30日(火)に株式会社フレッセイによる「フレッセイの概要と店舗での品質管理の取り組み」報告を、オンラインで行いました。
- ・12月7日(火)に株式会社とりせんによる「とりせんの概要と店舗での品質管理・衛生管理の取り組み」報告を、オンラインで行いました。健康福祉学部健康栄養学科の学生83名(2日間の合計)が参加しました。



#### ○東洋大学と連携:

- ・12月1日(水)に生活協同組合コープぐんまによる「コープぐんまと検査センターの概要、 品質管理の取り組み」報告を、オンラインで行いました。 食環境科学科学生10名が参加しました。
- ○加盟する店舗で実施する食品表示に関する現地講座は、中止としました。
- ○バス移動を伴う食の現場探求隊も中止としました。
- ○食物アレルギーオンラインセミナーを開催しました。 群馬県との協働事業として、こどもの食物アレルギー ~小児食物アレルギーの注意点 ~ をテーマに荒川浩一氏を講師に依頼し、2月10日から2月24日の間、群馬県公式 Youtube チャンネル「tsulunos」において録画配信され629回視聴されました。
- (2) 県行政とのつながり
- 〇群馬県食品安全審議会(コープぐんま岩崎理事)や群馬県食品安全県民会議(木榑理事)、 群馬県食育推進会議(田中副会長が出席)に委員として参加しました。
- ○ぐんま地産地消推進店及び協力企業・団体認定登録委員会に針谷専務理事が委員として参加しました。
- ○群馬県農畜産物ブランド戦略協議会(ぐんま地産地消県民運動推進会議)にパルシステム 群馬反町理事長が委員として参加しました。

#### 3. 災害対策、福島支援について

- (1) 県連災害対策協議会
- ○第1回を4月16日(金)、第2回を11月26日(金) に開催しました。
- ・第1回協議会では、群馬県社会福祉協議会の山岸氏を 講師に迎え「災害ボランティア活動」について講演し ていただきました。
- ・第2回協議会では、群馬県総務部危機管理課 青木純
- 一氏(危機管理専門員)を講師に迎え、「ぐんまの防災」について講演していただきました。 ○県社会福祉協議会主催の「災害ボランティアセンター運営スタッフ養成研修 I.II」に参
- ○県社会福祉協議会主催の「災害ボランティアセンター運営スタッフ養成研修 I.II」に参加しました。
- (2) 令和3年度群馬県総合防災訓練延期
- ○9月11日(土)に安中市において開催が予定されていた県総合防災訓練は、今年も1年



間延期となりました。

- (3)福島視察研修会の実施
- ○群馬県消団連・前橋市消団連と県連災害対策協議会の共催で開催していた「福島視察学習 バスツアー」は今年度も中止としました。
- (4) 会員生協の取り組み
- ○コープぐんまでは「東日本大震災から10年、現在のフクシマの現状」と題して学習会を 開催しました。はるな生協に協力いただき、子どもの甲状腺検査を実施しました。

### 4. 生協大会・消費者まつり後継企画の検討について

- (1) 生協大会実行委員会の開催
- ○今日の生協の果たすべき役割を踏まえたテーマの設定や生協間の交流などを主眼とする生協大会の見直を前提に、7月13日(火)より第53回実行委員会を立ち上げ、開催に向けて準備をすすめました。

『誰一人取り残さない社会を作るために~私たち生協ができること~』を今大会のテーマ に、オンラインで開催しました。



社会学者の上野千鶴子氏を講師に「コロナ禍とジェンダー 私たちができること」をテーマに講演が行われ、186人が参加しました。後半はコープぐんまの橋爪理事より『甘楽町サポートセンターで開催されている「ふれあい食堂ほぺたん広場」、三者協議会で実施した「なんでも相談会・フードバンク」の活動』、パルシステム群馬吉田理事より、『パルシステムグループの第1回第ジャパンSDGsアワード内閣官房長官賞の受賞、伊勢崎市四葉学園中等教育学校でのSDGs学習会講師派遣とフードドライブ実践、、他団体とのつながり』などについて報告がありました。また、群馬中央医療生協の職員西野さんから『グリーフケア取り組の連携、LGBTフレンドリー病院をめざす連携、子育て世帯を支援するための連携など、多くの団体とのつながりによる活動』について報告がありました。

- (2) 消費者まつりの後継企画の検討
- ○2021年度以降の取り組みの検討をすすめることができませんでした。

#### 5. 研修会について

- (1) 監事研修会、理事研修交流会の開催
- ○9月29日(水)に医療福祉生協監事交流会をオンラインで開催しました。医療福祉生協の監事、役職員と県連事務局あわせて19名が参加、日本生協連総合マネジメント本部法
  - 務部土屋良一氏を講師に迎え「監事監査の基本と監査 のポイント」について講演していただき、各会員生協 からの質疑を交え意見交換が行われました。
- ○3月18日(金)に第4回医療福祉生協非常勤理事研修交流会をオンラインで開催しました。医療福祉生協の監事、役職員と県連事務局あわせて56名が参加、群馬中央医療生協の長谷川敦子専務理事を講師に迎



え「医療福祉生協の理事の役割」について講演していただき、グループワークでは各会員 生協からの報告と意見交換が行われました。

- (2) 役職員研修の開催
- ○7月20日(火)の第1回県連組織部会では、中央労働金庫群馬県本部上席調査役の笠原 雅宏氏を講師に迎え、「成年年令の引き下げと関連する消費者教育」についての学習会を開催しました。



1月18日(火)の第2回県連組織部会では、日本生

協連中央地連事務局の大田英夫氏より日本生協連の活動のまとめと次年度方針について報告を受けた後、各生協の活動のまとめと次年度課題の報告と意見交換を行いました。

- (3) 会員生協の取り組み
- ○コープぐんまでは、県消費生活課の消費者支援・防犯係の方を講師に、迎え組合員を対象 とした「成人年齢引き下げに伴う消費者被害」の学習会を開催しました。

### 6. 憲法・平和・くらしを守る課題について

- (1) 平和の取り組み
- ○ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対して、ロシア大使館に抗議声明文を送りました。 また、会員生協ではウクライナ市民への人道支援を行う国際機関等に対して、募金活動が 取り組まれました。
- ○予定されていた企画は延期、オンライン開催、規模縮小の開催となりました。
- ・核軍縮について話し合うNTP再検討会議は、2022年1月の開催が延期となり、 2022年8月に延期となりました。
- ・ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキは、今年もオンライン開催となりました。
- ・会員生協では「核兵器禁止条約の批准を求める署名」に取り組み、日本生協連では「核兵器禁止条約への署名・批准と、結約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書」を日本政府に提出しました。
- ・戦争体験記の発行を予定通り進めることができませんでした。
- (2)環境問題
- ○群馬県環境美化運動推進連絡協議会、群馬県3R推進協議会、環境にやさしい買い物スタイル推進協議会に参加し環境の取り組み協力しました。
- (3) 会員生協の取り組み
- ○コープぐんまでは「コープのエコ活~100年後の地球のために~」「コープ平和活動」 と題して学習会をオンラインで開催しました。
- ○群馬中央医療生協では、ペットボトルなどの使い捨て容器に入った飲料の利用を減らす取り組みとして前橋協立病院一階に apan Refill (給水スポット)を設置しました。

#### 7. 地域社会、コミュニティづくりについて

- (1) くらしの諸課題(貧困問題や子育て支援など) 会員生協の取り組み 会員生協では、長引くコロナ禍で生活困窮者支援や居場所づくりなど、地域のつながり を大切にした取り組みが他団体と協力して取り組まれました。
  - ※活動の詳細は「会員生協の取り組み」をご覧ください。
- (2) 健康チャレンジ実行委員会の開催
- ○健康づくりの習慣を広めていくために健康チャレンジに取り組みました。
- ○9会員生協が参加する実行委員会を中心に運営を進め、実行委員長に群馬中央医療生協の 瀧澤理事が選出されました。

- ○今回も群馬県、群馬県教育委員会をはじめ、29市町村、 10市町村教育委員会、7団体、県内マスコミ9社の後援 が得られました。
- ○キッズ健康チャレンジの取り組みでは、地域校長会や教育委員会での説明や小中学校、幼稚園、保育園、学童保育への訪問を実施し、取り組みの輪が広がりました。一般向け健康チャレンジの取り組みでは、行政への訪問や公民館、地域の店舗などへのパンフレット設置の他、回覧板でのお知らせなども取り組まれました。
- ○10月14日(火)に利根保健生活協同組合・利根歯科診療所所長の中澤桂一郎先生を講師に迎え「オーラルフレイル予防で健康寿命を延ばそう」~あいうべ体操でお口の健康づくり~と題して、健康チャレンジ2021学習会をオンラインで開催、組合員、役職員103名が参加しました。
- ○一般向け健康チャレンジで 5, 585名、キッズ健康チャレンジでは 75施設等から 4, 423名の報告が寄せられ、合計で 10, 008名の参加が得られました。





# 8. フートピア21 (協同組合間連携の取り組み) について

(1) フートピア21委員会の開催

8月24日(火)付けで書面により開催され、令和2年度活動のまとめと令和3年度活動方針、委員および事務局メンバーを確認しました。副会長に中村会長、監査委員として今井常務理事が選任されました。

- (2) JA収穫感謝祭2021 JA収穫感謝祭は今年度も中止となりました。
- (3) フートピア21職員学習会の開催 12月10日(金)に職員学習会が開催され、農協、森 林組合、生協の若手職員とフートピア21事務局、役職 員などが参加しました。学習会は、群馬県森林組合連合 会高橋伸幸指導部長に講師を依頼して「群馬の森林組合 の現状と仕事」をテーマに学習会を開催し、その後グルー プに分かれて交流しました。



(4) 利根沼田地域での取り組み

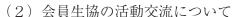
12月21日(火)にJA利根沼田本店で、JA利根沼田、利根保健生協、利根沼田森林組合、コープぐんま、フートピア21事務局の職員とで利根沼田地区の2022年度の活動について話し合いを行い、地域への貢献・食育企画、職員の交流企画などできることから協力して活動していくことを確認しました。

#### 9. 女性協議会について

- (1) 運営委員会の取り組みについて
- ○新型コロナウイルス感染防止策を行った上で毎月運営委員会を開催しましたが、バス移動が伴う企画や交流会などは中止としました。
- ○4月21日(水)にぐんま男女共同参画センター所長 石井富美代氏を講師に迎え「群馬の男女共同参画とコロナの影響について学ぶ」をテーマに学習会を開催しました。
- ○6月10日付けで書面により第28回定期総会が開催されました。当日は新旧運営委員が

集まり、書面議決書を確認し総会の成立と全議案の賛成多数による可決を確認しました。コープぐんま、パルシステム群馬では委員の交代があり、新たに岩崎知恵理事(コープぐんま)、田代裕子理事(パルシステム群馬)が運営委員となりました。

- ○8月4日(水)に運営委員学習会を開催し、結成27年を迎えてこれまでの活動を振り返り、新しい時代の活動のあり方について意見交流を行いました。基調講演ではぐんま男女共同参画センター所長 石井富美代氏から「群馬の男女共同参画と新型コロナ感染症拡大の女性への影響」と題して講演していただきました。
- ○10月13日(水)に中之条ガーデンズ視察研修会を 開催しました。



- ○会員生協役職員と運営委員との懇談会は中止となりました。
- (3) 行政とのつながりについて
- ○「群馬県薬事審議会」「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」「群馬県多面的機能の発揮の促進に関する第三者委員会」「「野菜王国・ぐんま」推進計画検討委員会」「ぐんま女性活躍大応援団実行委員会」「群馬県海外漂着物対策地域計画検討委員会」に運営委員から委員を派遣し、各々意見表明しました。





## 【生活協同組合コープぐんま】

#### 1. 組合員活動

- (1) 群馬県からの委託事業「食品ロス及びプラスチックごみ削減の普及及び調査研究業務」 に取り組み、各ブロック委員から提出されたMOTTINAIレシピから、調理動画 を作成し群馬県に提供しました。
- (2) 「コヨットinぐんま」を7月30日~8月1日の3日間で福島県にお住いの8組22名のご家族をお招きし、渋川市・みなかみ町・上毛新聞社・群馬県生協連のご協力で開催しました。
- (3) ネイチャークラブによる「森林(もり)づくり」は年3回予定していましたが新型コロナウィルス感染拡大による緊急事態宣言中につきいずれも中止しました。
- (4)「水産試験場見学会~お魚を学ぼう~」は群馬県水産試験場の方が講師になり「ぐんまに棲むお魚」の話を聞いたり、「お魚の観察」などを行いました。また「鮭の放流に向けた取り組み」で12月に「卵配布会」と2月に「稚魚の放流会」を実施しました。

#### 2. 事業活動

#### 【宅配】

- (1) 5月2回宅配物流新システムをリリースしましたが、多くの不具合が重なったため全コースでお届けが出来なくなる重大事案を発生させてしまいました。
- (2) 藤岡センターを拡張移転し、2022年3月21日から新センターの配送が始まりました。
- (3)「コープデリ・ミールキット」の再強化に取り組みました。冷凍ミールキット「Bistoro deli」は冷蔵では取り扱いの難しい「魚メニュー」の品揃えを強化しました。
- (4) 地域担当者が業務用スマートフォンでチャット形式で質問回答が調べられる「コープ デリチャットボット」がスタートしました。
- (5) 2019年11月に開始した「はじめてばこプロジェクト」は、2021年1月度累計で10,186名(組合員4,381人・未加入者5,805人)になりました。

#### 【店舗】

- (1) ほぺたんカードの店舗アプリへの機能追加を2021年4月に全店へ展開、新たな決済方法として2022年2月に全店でPav払いを導入しました。
- (2) 年度末プロモーションとして  $2/2 \sim 3/19$  まで「毎週水曜キッズデー」「毎週木曜シニアデー」「毎週土曜 5%引きカードデー」を実施しました。
- (3) 高崎市箕郷町新規出店店舗「コープみさと店」は、ショッピングモール「ハルナモ」 の名称で5月末オープンとなります。

- (1) 宅配物流トラブルにより未配達となった商品をフードバンク等へ寄贈しました。
- (2) 前橋工科大学学生支援を行い、学生ヘレトルトのご飯やロングライフパン、カップ麺、 缶詰などの食料支援を行いました。
- (3) 東毛6市町村での組織強化に取り組みました。移動店舗運行開始準備として板倉町、千代田町、 邑楽町の区長会やコミュニーティサロンに訪問し、アンケートをしてコースづくりをしました。
- (4) コロナ禍で困窮している人たちを支援する団体を対象とした寄付を行いました。総額 1,000万円の寄付先を社会貢献委員会で検討し、「赤い羽根募金」「愛の募金」「富 岡製糸工場の煙突修理の一部」に寄付しました。

## 【生活協同組合パルシステム群馬】

#### 1. 組合員活動

- (1) 2021年度は、新型コロナウイルスにより安全対策を徹底して組合員活動をすすめましたが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の時期においてオンラインのみに限定する活動ミーティングやイベント企画の開催を行いました。
- (2) オンラインによるイベント開催が定着し、年間 47 企画のうちオンラインを活用した 企画が8割以上となりました。(オンラインのみ開催+オンライン併用開催)
- (3) 産地の生産者との交流企画や認知症などの各学習会、子育て企画などもオンラインを活用して開催することで、これまで参加が難しいとされていた組合員にも参加が広がる例もありました。

### 2. 事業活動

- (1)組合員や地域の暮らしを守ることを最優先とし、職員等の感染拡大の対策を徹底して供給事業を継続する方針ですすめました。
- (2) 群馬県・栃木県の警戒レベルや感染状況をもとに危機管理委員会を随時開催し、職員等へのケアや営業の範囲等についてスピーディーかつ細やかに対策を判断しました。
- (3) 新型コロナウイルスが拡大した2020年度に対して2021年度の供給高は、前年 比102.4%となり、総事業高は61億円を超える規模になりました。

- (1) 新型コロナウイルスの影響により、連携団体との企画が一部中止となりましたが、定期的に開催される甲状腺検診の支援や、子ども食堂などへの予備青果の提供を継続して取り組みました。
- (2) SDGs推進として県内学校で実施している体験型プログラムは、のべ千人を超える 生徒を対象に広がり、SDGsを行動する体験としてフードドライブや廃油石けんづ くりなどを生徒と一緒に行い、地域につながる取り組みとなりました。
- (3) 2022年に迎えた創立20周年記念の取り組みのひとつとして、パルシステム群馬の「市民活動助成金制度」を創設し、事業エリア内の市民活動団体6団体への助成を決定いたしました。
- (4) これまでの機関誌の位置づけを持った媒体をリニューアルし、10月よりカラー8ページの冊子を創刊しました。組合員や地域とつながる大切な媒体として毎月1回発行しています。
- (5) 3月には、ウクライナへのロシア侵攻に対して、グループで緊急声明を宣言するとともに人道支援のための緊急募金に取り組み、1億6千万円以上の善意が集まりました。

## 【生活クラブ生活協同組合】

#### 1. 組合員活動

- (1) 産地への訪問や生産者を直接招いての交流会はできませんでしたが、オンラインでの 交流会や学習会を多く開くことができました。
- (2)組合員の運営する定例会議も、オンラインや、オンラインと実参加のハイブリット会議が定着しました。

#### 2. 事業活動

- (1) コロナ禍の中、感染予防対策を行いながら配達業務や拡大業務を行いました。供給は、コロナ禍で巣ごもり需要が高かった前年比では96.2%ですが、前々年比は112.8%となりました。組合員数は前年比102.1%でした。
- (2) 感染予防対策を行ったうえで、予約制で展示販売会を行いました。

#### 3. 社会貢献や地域社会づくりの活動

- (1) 生活クラブはワーカーズ・コレクティブを広める運動を推進しています。2020年 の労働者協同組合法の成立を受けて、ワーカーズ・コレクティブ(協同労働の一つの 形態)に関する学習会や映画上映の共催などを行いました。
- (2)遺伝子組み換え食品に関する署名、日本のエネルギー基本計画に対する署名やパブコメ提出の働きかけ、虐待から逃れた子どもの心のケアを要望する署名などの社会的な問題に取り組みました。

## 【よつ葉生活協同組合】

#### 1. 組合員活動

組合員活動も制約の多いなかでの活動となりましたが、オンラインを利用した料理教室や味噌づくりなどに取り組み、組合員が気軽に参加できる体制を整えました。

#### 2. 事業活動

- (1) 供給高45.6億円(前年比97.5%)、出資金12.1億円(105.2%)となり減収増益で終了となりました。
- (2) 2021年度事業は、新型コロナウイルス感染症も2年目を迎え経済状況や社会活動の変化もありましたが、内食需要の高まりは継続され利用結集につながりました。一方、事業継続対策のため感染予防の徹底、熱中症対策、衛生管理、オンライン商談などに取り組みました。

#### 3. 社会貢献や地域社会づくりの活動

社会貢献活動では、新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金を継続して取り組んでいます。

## 【群馬県庁生活協同組合】

#### 1. 組合員活動

- (1) 2021年6月23日(水)県庁生協食堂において、第72回通常総代会を開催し、 すべての議案が承認されました。
- (2) 機関誌「G倶楽部」を毎月1回発行しました。生協事業の広報のみならず、「簡単クッキング」、「映画情報」、「クイズ(間違い探し)」、「身の回りで起きたこと」等のコーナーを設け、組合員とのコミュニケーションツールとなっています。

#### 2. 事業活動

- (1) 売店は県庁店、前橋店、高崎店、沼田店の4店舗を設置していますが、新型コロナの 影響を受け、厳しい運営状況となっています。
- (2) 食堂は県庁店、沼田店の2店舗で設置していますが、売店同様に新型コロナの影響を受け、厳しい運営状況となっています。また、県庁店では、県庁内の配達弁当事業も行っています。
- (3) 県産農産物やカタログによる各種商品などの共同購入事業を実施しました。

## 【群馬県学校生活協同組合】

#### 1. 組合員活動

- (1)職場と学校をつなぐ活動として県内13地区ごとに行う「地区運営委員会」を上期、 下期の年2回開催する予定です。(過去2年間はコロナ禍により中止)
- (2) 2017年4月に導入したマイページは、21年度末では約10,000名の登録となり、登録率は65%となりました。生協係の負担軽減や事業コストの削減に繋がるほか、情報発信ツールとして組合員のくらしに役立つ情報を定期案内しています。

#### 2. 事業活動

- (1) トータルカーサービスや住宅関連サービスの拡充、デジタル組合員証の活用により利便性が向上しました。
  - 「学校生協まつり」や「退職準備セミナー」「工場見学バスツアー」「組合員交流ゴルフコンペ」などの組合員参加型事業はコロナ禍で中止もしくは規模を縮小しての開催となりました。2022年度は、都度状況を判断して再開の方向で検討していきます。
- (2) 学校の働き方改革に寄与するため、学校生協係の負担軽減策として、企画チラシ等の利用者・希望者配布を推進しました。

- (1) 小規模グループ支援制度と激甚災害見舞金制度を設けるほか、年3回実施する「ひとり一品以上利用拡大キャンペーン」を被災地支援企画と位置付けて、利用額の2%を義援金として東日本大震災と熊本豪雨の被災地に届けました。また、指定業者会の協力による、学校安全パトロール活動・サッカーボール寄贈(小学校50校、中学校50校に寄贈)・サッカー教室を継続して開催しています。
- (2) 新型コロナウイルス感染防止と教職員の健康維持に寄与するため、業者会の協賛を得て、県内公立学校及び教育関係団体に「感染予防用品」を各学期に寄付しました。この活動は2022年度も継続して行う予定です。

#### 【群馬大学生活協同組合】

#### 1. 組合員活動

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン授業が増えました。この結果、 学生組合員の登校率が低迷し、組合員活動はほぼできない状況となりました
- (2) 課外活動についても制限がかかったことで、学生委員会もオンラインでの会議や活動を余儀なくされました。その中で、オンラインでの新入生交流会や履修相談会などを開催しました

#### 2. 事業活動

- (1)組合員加入率が減少傾向です。これは新入生や保護者に向けて行ってきた入学前対面 説明会が実施できなかったことや、Web手続きにシフトしたことでWebの利活用 の得意不得意などでの差異が発生しているものと思われます。今後の対応が急務との 認識でいます
- (2) オンライン授業増加(対面授業の減少)の影響で、生協利用客数が2019年度比5 割程度まで減少しました。加えて、住まい紹介事業も2019年度比6割程度の利用 と大きな供給減少となりました
- (3) Webでの教科書販売や、公務員試験対策講座のWeb開催など、ピンチの中で創意工夫による事業展開を行いました

## 【太田情報・医療・自動車専門学校生活協同組合】

#### 1. 組合員活動

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン授業が一部取り入れられました。また、ホール内での昼食時の会話を制限されたり、ホール内の椅子が一方向のみに利用制限されたりするなど、交流の場面が減少しています。
- (2) 例年行っている七夕とクリスマスに合わせてプレゼント抽選会は、感染拡大に注意しながらも実施することができ、非常に喜ばれました

#### 2. 事業活動

- (1)飲食しながらの談話場面などが制限されたことにより、日常的に利用される飲食に関する供給が減少し、ご利用客数も減少しています。
- (2) 一方で、地元企業様とのつながりを活かした商品提案から、学校法人様の学生用つなぎや白衣などの教材についてご利用を増やすことができました。

## 【高崎経済大学生活協同組合】

#### 1. 組合員活動

- (1) 21年度の新学期は、新入生交流会・高崎めぐり・高経知恵袋といったいくつかの企画を対面で実施できたことで、多くの新入生を温かく迎えることができ、例年以上に学生委員会入部希望者が多くいました。
- (2) 5、6月の「まん防」が明けて以降、課外活動の規制が弱まるにつれ、対面の部会を再開し、対面企画の準備をして、七夕企画、ハロウィン企画、健康フェスタ・自転車点検会、クリスマス企画、共済給付ボード、生協のお店・食堂とのコラボなど、前年の2020年度はコロナでほとんどできなかった活動ができてきました。参加者も久しぶりの企画でどんどん参加が増え、楽しんでもらえたようです。特にクリスマス企画は参加が多く大変盛り上がりました。
- (3) 教員監事の発案から、コロナにより教育と研究分野でどのような利用の変化があったかを問うFormsアンケートを作成、設問項目設定や一斉メールに協力をお願いしました。 107名の先生方に送付し43名の回答を得ました。結果の分析にも監事の先生のご協力をいただきましたが、お店の品揃え変更などに結果を生かす対応ができませんでした。 今後は、貴重で具体的な声を形にしていく取り組みを重視しなければなりません。
- (4) 教員監事のゼミの提案を理事会で論議し、経営対策として「学食パス入金チャージ5%ポイントバック企画」を約1ヶ月間にわたって実施しました。287件328万円の入金があり、前年同月の10倍近い入金チャージがありました。

#### 2. 事業活動

- (1)大学は4月の始業を約1週間遅らせ、その後はほぼ対面授業の再開を公表していましたが、前期は200名規模の大教室授業の多くがオンライン・ハイブリッド方式の様子でした。営業時間は全てコロナ前に戻し、食堂などコロナ前に近い利用を想定したシフトを組んでいたたため、登校人数の実態が判明して以降、客数に応じた運営に絞り込めませんでした。(後期もまだ多くがオンライン・ハイブリッドのまま残りました)7号館食堂は年間通してコロナ前との比較で8割程度の客数、三扇会館食堂は9割程度となっています。パン・おにぎりなどの食品分類に至っては6割程度の売り上げにとどまりました。
- (2) 新学期学習用パソコンの計画割れが、供給活動の後々まで大きく響きました。
- (3)「食」以外では、文具利用が激減しました。オンライン・オンデマンドの講義も多くなり課題その他で紙の使用が減っていること、大学に納める紙製品の注文も激減しています。これもコロナの影響です。
- (4) 2020年後期に大学後援会の協力をいただいて行った「学生応援チケット」の利用を5月まで延ばしました(2020年度からの利用は合計で1,150万円、使用率は85%でした)。6月からは新たに新入生用の「学生応援チケット」を実施しました。4,000円分を856名に配布し、300万円を超える利用がありました。
- (5) 7月には大学・学生支援チームから「食支援」セットの発注があり(加工食品を一人 770円分×3,200人=2,464,000円)7月から8月にかけて1,800 セットを配布、残りは10月に配布いたしました。(食品の仕入れは全てコープぐん まさんにお願いしました)

### 【前橋工科大学生活協同組合】

#### 1. 組合員活動

- (1) 21年度の新学期は、推薦生交流会・新入生サポートセンター・新入生歓迎会・PC セットアップ講習会など全ての企画がオンライン企画となってしまいました。その後すぐ「まん防」期で授業はオンラインに逆戻り、課外活動は制限されて上期は何の活動もできませんでした。
- (2) 下期ようやく活動制限解除がされましたが、そこからの準備では対面企画はなかなか 組めずガラポン企画しかできませんでした。ガラポン企画は久しぶりの企画だったこ とや、学園祭も中止しているような状況だったので大いに盛り上がりました。
- (3) 22年新学期から学部再編で学群制になること、本格的にBYODが開始となること、 入試選抜日程が約1カ月前倒しになったことなどから、企画ができない分、22年の 新入生用の企画を考えることにしました。

入学準備説明会(オンライン開催) → https://youtu.be/bBa74piZ4z0

料理教室(動画アップ) →

→ https://youtu.be/yZMXJqJ9Fxo

https://youtu.be/5MvX1\_jaWeI https://youtu.be/zT-vr5kX70g

女子会(対面企画)

→ https://youtu.be/H-dkBRyeORE

#### 2. 事業活動

- (1) 5、6月のまん防期は、食堂閉店・購買書籍部短縮営業で対応、下期スタート時期も 2週間オンライン授業だったため、食堂・食品は年間通して不調でした。年間の累計 では、パン・おにぎり・飲料などの食品部門はコロナ前の2019年度比で70%弱、 食堂部門は60%という結果でした。
- (2) それでも、最終事業剰余段階でプラスの着地ができたのは、教習所と公費・大学利用が好調だったことが大きな要因でした。(大学は、ふるさと納税による大学の支援受付を開始し、その使い道として、食堂に大きな空気清浄機を設置してくれたり、食品の自販機を設置して運営を生協に任せてくれたりと、大学の支援・協力は大きなものがあります)
- (3) コロナ禍で、事業剰余段階でプラスになるのは、事業活動の大きな成果だととらえています。

### 【利根保健生活協同組合】

#### 1. 組合員活動

活動全般の傾向としては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年度も約半分の期間は組合員活動を制限せざるを得ない状況でした。そのような中、

- (1) コロナ感染者への差別や偏見をなくそうと、シトラスリボンプロジェクトが始動し、 組合員から感謝の想いを込めて多数のシトラスリボンが職員へ贈呈されました。
- (2) 身近な地域を歩いて(新たな発見や気づき)ゴミ拾いを行い、まちの美化に貢献しながら、生協を知ってもらう「わがまち探検&クリーン大作戦」にとりくみました。
- (3) 「なんでも相談窓口」は、気軽に相談してもらえるようにフリーダイヤル回線の開設や虹の箱を活用した相談のしくみをつくりました。
- (4)子ども食堂は開催が困難なため、月1回の弁当配付の活動へ変更し、支援活動を継続しています。
- (5) フードドライブ活動は、偶数月で定期開催できるようになり、地域の団体とも協力して、 支援が必要な方々に対しての支援の輪が広がりました。

#### 2. 事業活動

- (1) 各事業所ともコロナ感染対策に最新の注意を払い「持ち込まない」を徹底しました。 とりわけ利根中央病院では、発熱外来や PCR スクリーニング検査、ワクチン接種、 コロナ陽性患者の入院対応等、地域の基幹病院として大きな役割を果たしました。 (発熱外来 6,267 人。スクリーニング 5,754 人。 P C R 検査 10,770 件。 抗原定量検査 2,302 件 (10 月から実施)。コロナワクチン接種 17,614 回)
- (2) 利根中央病院では、群馬県からの要請を受け、第5波対応に向けての陽性者受け入れ 病床を9月より12床へ拡大(従来4床)し、地域ニーズに対応しています。
- (3) 診療所の訪問診療では看取りニーズに対応し、年間 33 件で過去最多となりました。
- (4) 群馬県の第8期介護保険事業計画に応募し、当生協のみが応募で選定待ちでしたが、 群馬県と医師会の瑕疵(周知不足)があり、事業計画が保留状態となっています。

- (1) 沼田市と「地域見守り活動に関する協定書」を締結。安心して暮らせる地域づくりをめざして、当生協の事業や活動を通して、地域住民の見守る活動で連携しました。
- (2) 手洗い教室は、小学校を中心に16回実施し、学童や老人クラブにも広がりました。 保健講話は、小学校~高校まで幅広い依頼があり、医師・理学療法士・看護師・助産 師・歯科衛生士等が講師で23回開催し、過去最高の実施回数となりました。
- (3) みなかみブロックの5支部が「SDG s 宣言」のとりくみの一環として、ペットボトルキャップの回収をすすめ、社協をエコキャップ推進運動を通して、発展途上国の子どもたちにワクチンを届ける活動にとりくんでいます。

## 【北毛保健生活協同組合】

#### 1. 組合員活動

- (1)組合員活動交流集会コロナ感染拡大に伴い活動の制限をおこなった。感染の状況に合わせ「しっかりと準備をし、できるときにできることを」実施しました。
- (2)強化月間は9月~11月前半は仲間ふやし出資金ふやしの取り組みができず、後半に集中して取り組みました。全戸郵送の際に振込用紙を同封し増資のお願いをおこない 158件216.4万円の増資に結びつきました。
- (3) 健康チャレンジは3年目。健康チャレンジ1,012人・キッズチャレンジ1,147人・計2,159人が参加。渋川市教育委員会や学校をはじめ他団体へ協力の依頼をおこない連携が広がり。目標1,600人を大きく上回りました。
- (4) 3月組合員活動交流集会をWebによる分散会場で開催しました。コロナ禍での支部活動の共有し、後継者対策や支部分割についても話題にしました。支部の年間計画に活かせる情報共有と活発な意見交換により支部が元気になりました。

#### 2. 事業活動

- (1) コロナウイルスの感染拡大によりさまざまな制限の中奮闘した。入院は前年 比97.7%、外来は104.2%、健診事業は事業所健診を受け入れ前年比 115.8%となりました。
- (2) 9月より在宅型有料老人ホームとデーサービス事業を開始した。介護職員の確保が困難で定員制限を行っています。人材確保で苦戦しています。
- (3) 北毛診療所で1月より常勤医師が着任し在宅診療の件数及び充実をめざしています。

- (1)「フードバンクなんでも相談会」を開催しました。実行委員会形式で団体、渋川市と 渋川市教育委員会に後援をいただき学校での情報提供も行いました。また、地域のフー ドバンク事業所や子ども食堂とも連携をすることができました。
  - ①2020年12月26日参加29人
  - ②2021年7月3日(参加80人)
  - ③2021年12月25日(参加151人)3回開催しました。 回を重ねるごとに協力の輪も広がり、認知される中で参加者が増えています。

## 【群馬中央医療生協生活協同組合】

#### 1. 組合員活動

- (1) コロナ禍の中でも班づくりや訪問行動など組合員同士のつながりを絶たない取り組みがすすみました。外出企画やおしゃべり、セルフケア普及など多彩な班が新た14班増えました。生協強化月間中には9支部が組合員訪問に取り組み、事業所でも未加入者などを対象に組合員と職員協同による訪問行動が行われました。
- (2) 支部が主体的に運営する「たまり場」は、活動の自粛が続く中でも感染対策に留意しながら継続して開設し、安心の居場所としての役割を担いました。
- (3) WHO世界禁煙デーポスターコンクールに小学生から高校生まで70点の応募がありました。「ぐんままるごと健康チャレンジ」のキッズチャレンジでつながった小学校などから多数の応募がありました。またキッズチャレンジでは児童や生徒の自主的な保健活動として取り組んだ学校もあるなど、学校との連携がすすみました。
- (4) オンラインシステムを活用して複数会場をつないだ学習会を2回開催しました。11月は 医師・歯科医師による学習会に128名が参加、2月は「認知症を地域で支えよう」学 習会に81名が参加、一同に集合できない中でも多数の組合員が学ぶ機会になりました。

## 2. 事業活動

- (1) 医科事業所では新型コロナウイルス感染症への対応を積極的にすすめ、全ての事業所で感染対策を強化するなど職員の奮闘によりクラスターを発生させることなく事業活動を継続してきました。前橋協立病院はこれまでの発熱外来、PCR検査・ワクチン接種対応等に加え、県からの要請で1月から陽性者の入院受け入れを開始し、群馬県全体の感染者入院受け入れ体制整備に貢献しました。前橋協立診療所もこれまでのPCR検査に加え、第6波以降は保健所からの要請で自宅療養者への訪問診療を開始しました。太田協立診療所でも11月から県の指定を受け発熱外来(診療・検査外来)を開始し、法人全体で4,293件のPCR検査、2,155件の抗原検査を実施しました。また、ワクチン接種は4事業所で合計14.826件実施しました。
- (2) 前橋協立病院の新病院基本構想はプロジェクト会議が11月からスタートし、人口動態など外部環境や内部的課題をふまえた上での新たな病院の医療機能や規模について協議をすすめてきました。今後は、住み慣れた地域でどのように最後までくらし続けたいか等の住民要求にもとづいて、既存建物の利活用も含め、くらしの支援に必要な事業や活動について組合員・職員による協議体として議論をすすめていきます。

- (1) 生活困窮者からの相談をきっかけに他団体との連携で生活困難な方々への「生活相談・医療相談・物資配布」を2回実施しました。子どもたちへの食材配りを行っている館林支部明和班では組合員の働きかけで大手食品会社から冷凍食品を寄付していただけました。フードドライブも始めたことで生活困窮の方々への日常的な物資支援も実施しています。
- (2) 前橋市市民活動支援センター (Mサポ) に登録したことで、LGBTQ (性的少数者) を支援する団体や引きこもりの若者を支援する団体など、地域貢献団体との連携が広がりました。
- (3) 支部の組合員の発案で「住みよい街づくり地域散策」を事業所の専門職だけでなく前橋 工科大学関係者など他団体との連携で実施しました。車椅子等での調査後にワークショップで課題を出し合い、自治会を通して行政等へ改善内容の申し入れを行いました。

## 【はるな生活協同組合】

#### 1. 組合員活動

- (1) 感染防止を第一に、群馬県社会経済活動再開に向けたガイドラインに基づく要請で警戒度4以上となった場合には、組合員活動を休止することを申し合わせて取り組んできました。休止期間は実に176日に及びましたが、活動に起因する感染は出していません。
- (2)活動が制限されるなか、オンラインで医師の話を聞く班会や、SNSの活用など、模索が続いています。
- (3) コロナに負けないウォーキング企画「ふるさとの散歩道」は、既に15コースを機関紙で紹介してきました。

### 2. 事業活動

- (1)「発熱外来」やPCR検査、ワクチン接種など、地域で求められる役割を担うべく取り組んできましたが、コロナ禍に伴う患者・利用者の減少が引き続き、事業的には厳しい1年でした。
- (2) 昨年5月に開業した「看護小規模多機能つむぎ」は、コロナ禍の影響で思うように登録者が増やせませんでしたが、今まで関係の薄かった医療機関や事業所からの紹介も多く、地域連携が広がりました。
- (3) 訪問リハビリテーションが前年比1.7倍に急増し、在宅療養支援サービスの幅が広がりました。

- (1)無料低額診療事業(経済的な理由で必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう無料又は低額な料金で診療を行う事業)を病院、歯科診療所、通町診療所で取り組みました(342件)。
- (2) 助け合いの有償ボランティア「あんじゃねぇ」のとりくみは、コロナ禍で1年の半分が活動休止となるなか、100件の実績でした。
- (3) 13年目となる生活困窮者支援炊き出し(月2回)とハローワーク前なんでも相談会 (コロナなんでも相談会、月1回)を取り組みました。感染拡大期には炊き出しをやめ、 レトルト食品を配りました。
- (4) 高崎経済大生食糧支援を行う「まんぷくプロジェクト@高崎」に参加し、支援を行いました。

## 【こくみん共済 coop〈全労済〉群馬推進本部】

#### 1. 組合員活動

- (1) 2021年7月30日(金)前橋テルサにて第66回通常総代会を開催し、全ての議 案が承認されました。
- (2) 小学生作品コンクールとして、将来を担う子どもたちの豊かな心の成長を願い、作文と版画のコンクールを行いました。今年開催いたしました第48回目のコンクールにおいても、群馬県で作文84点、版画88点の応募をいただきました。表彰式は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を鑑み、中止としましたが、各小学校へ表彰状と参加賞を持参し、御礼とともに引き続きの参加をお願いしました。

### 2. 事業活動

- (1)協力団体における相互扶助活動として、組合員の慶弔時に際し共済金をお支払いする 総合(慶弔)共済の普及を行いました。また、組合員の組合事業に関する知識の向上 を図る取り組みとして、風水害等給付金付火災共済やこくみん共済、団体生命共済な ど、こくみん共済 coop の各種共済事業に関する普及宣伝を行いました。
- (2) 東日本大震災から11年経過した2022年3月11日(金)に、日本経済新聞に 15段広告を出稿しました。紙面では、「これからの防災・減災プロジェクト」の取 り組みを振り返りつつ、「もしもとその前後」をサポートすることの重要性や「住ま いる共済」のことを紹介しました。

- (1) 社会課題への取り組みとして、子どもの交通事故防止に向けた「7才の交通安全プロジェクト」(マイカー共済の見積数に応じて横断旗を全国に寄贈など) や、子どもたちの成長を支える「こどもの成長応援プロジェクト」(こくみん共済「こども保障タイプ」の加入件数に応じてなわとび・長なわを全国に寄贈など) を展開しました。なお、横断旗を寄贈する取り組みでは、4月18日に東吾妻町立岩島小学校へ、横断旗600本を寄贈する寄贈式を行いました。
- (2) SDGsの取り組みとして、「こくみん共済 coop SDGs行動宣言」にもとづき、東日本大震災から10年を契機に、これまでの災害対応のなかで得た教訓と経験をもとに、さらなる防災・減災の普及と安心のセーフティーネットづくりを進めていくため「これからの防災・減災プロジェクト」をスタートしました。
- (3) こくみん共済COOPでは、困っている人々を支援する#今できるたすけあいプロジェクトに取り組み、医療・介護・福祉従事者の支援として「日本赤十字社」「日本医療福祉生活協同組合連合会」に8,979,600円を寄付しました。また、コロナ禍で大きな影響を受けている「全国大学生協連合会」「生活・就労応援基金(ろうふくエール基金)などに10,000,000円を寄付しました。

# 2021年度理事会の開催概況

開催状況、議決事項は次のとおりです。

年月日	回次	議 決 事 項			
21 年 7 月 15 日 W e b 併用	1	1. 第62回通常総会のまとめについて 2.2021年度常務理事の選出について 3. 群馬県海岸漂着物対策地域計画検討会議委員就任について			
21年9月16日 Web開催	2	1. 表彰基準廃止と役職員永年勤続者表彰内規の制定について 2. 役職員永年勤続表彰者の推薦および記念品の選定について 3. 県連理事会推薦区分役員推薦委員会委員の選出について 4. 群馬県消費生活問題審議会委員、群馬県消費者苦情処理委員会 委員の推薦について			
21年11月18日 Web併用	3	<ol> <li>県連事務局長の派遣要請について</li> <li>群馬大学生協からの県連会費減免申請について</li> </ol>			
22年1月20日 Web開催	4	1. 第63回通常総会関連について (1) 第63回通常総会の開催日時、会場及び予定議案について (2) 役員改選にともなう理事・監事選任区分の定数について (3) 代議員定数の算出について 2. 群馬大学生協からの県連会費減免措置の実施について 3.2022年度の県連会費承認について			
22年3月17日 Web併用	5	1. 規程類の制定について 2. 県連事務所移転について			
22年5月19日 Web併用	6	1. 第63回通常総会の議案について 2. 総会運営について			

# 2021年度一般活動

年月日	 行	事備考
, 20. 3. 22	前橋市消団連幹事会	(斎藤、八田)
25	日本生協連中央地連運営委員会(Wek	n 開催) (中村)
"	日本生協連地区別議案検討会(Web	用催) (中村、針谷)
, 21. 4. 1	群馬県消団連幹事会	(斎藤、八田)
"	MCA 無線訓練	(佐藤)
5	県連事務局会議	(全員)
8	消費者支援群馬ひまわりの会理事会	(中村、斎藤)
15	女性協議会運営委員会(Web併用開催	崔) (斎藤)
16	県連災害対策協議会	(中村、針谷、斎藤)
21	群馬県農業再生協議会通常総会	(中村)
"	女性協議会オンライン学習会	(全員)
22	県連常務理事会	(中村、針谷)
"	行政生協懇談会(中止)	
26	はるな生協「つむぎ」開所式	(中村)
"	前橋市消団連幹事会	(斎藤、八田)
'21. 5. 6	群馬県消団連幹事会	(斎藤、八田)
10	県連事務局会議	(全員)
12	女性協議会運営委員会(Web併用開係	崔) (斎藤、針谷)
13	県連監事会	(針谷)
19	前橋工科大学総代会	
20	県連理事会(Web併用開催)	(全員)
22	群馬大学生協総代会	
"	消費者支援群馬ひまわりの会総会	(中村、斎藤)
24	前橋市消団連総会(書面開催)	(斎藤、八田)
25	第1回ぐんままるごと健康チャレンジ実行委員会(	W e b 会議)
26	高崎経済大学総代会	
27	群馬県消費者団体連絡会総会(書面開催	( )
31	食肉公正取引協議会総会(書面開催)	
"	太田情報・医療・自動車専門学校総代会	

年月日	行事	備考
'21. 6. 1 2	MCA 無線訓練 女性協議会運営委員会 群馬県総合防災訓第 1 回練調整会議 (W e b	(佐藤) (斎藤) 開催) (針谷)
3 7 9	群馬県消団連幹事会(資料配布のみ) 県連事務局会議 コ-プ ぐんま総代会	(斎藤、八田) (全員)
10 12 16	第28回女性協議会定期総会(書面開催) よつ葉生協総代会 パルシステム群馬総代会	
17 18	第62回県連通常総会(書面開催) 第71回日本生協連通常総会(書面開催) 第13回コープ 共済連通常総会(書面開催)	於:前橋テルサ9階
19	生活クラブ生協総代会 はるな生協総代会 利根保健生協総代会	
21	北毛保健生協総代会 群馬中央医療生協総代会 ぐんま労福協総会 前橋市消団連幹事会	(中村、針谷) (斎藤、八田)
25 29	学校生協総代会 第 15 回ぐんま食の安全・安心県民ネットワーク総会 (書面	<b>万開催</b> )

年月日	行事	備考
'21.7.1	県連常務理事会	(中村、針谷)
2	群馬県総合防災訓第2回練調整会議	(針谷)
5	県連事務局会議	(全員)
6	生協大会事前打ち合わせ会(Web開催)	(針谷、斎藤)
8	第2回ぐんままるごと健康チャレンジ実行委員	会 (中村、針谷、斎藤)
13	第1回生協大会実行委員会	(中村、針谷、斎藤)
14	第1回群馬県消費者大会実行委員会	(斎藤、八田)
14	女性協議会運営委員会	(斎藤)
15	県連理事会(Web併用開催)	(全員)
16	中央地連大規模災害協議会(Web開催)	(針谷)
20	県連組織部会	(中村、針谷、斎藤)
26	前橋市消団連幹事会	(斎藤)
27	中央地連運営委員会(Web開催)	(中村、田中)
"	中央地連活動推進会議(Web開催)	(針谷)
28	JCA情報交換会(Web開催)	(針谷)
"	群馬県社会福祉協議会との懇談会	(中村、針谷)
30	こくみん共済 coop< 全労済 > 群馬推進本部	3総代会
"	医療生協監事世話人会	(針谷、斎藤、八田)
'21.8.2	MCA 無線訓練	(佐藤)
"	県連事務局会議	(全員)
3	生協大会実行委員会	(中村、針谷、斎藤)
4	女性協議会運営委員会	(斎藤)
"	消費者支援群馬ひまわりの会理事会(We	b 開催) (中村、斎藤)
5	群馬県消費者大会実行委員会	(斎藤、八田)
"	群馬県消団連幹事会	(斎藤、八田)
11	健康チャレンジ事務局団体会議(Web開催)	(中村、針谷、斎藤)
19	県連常務理事会(Web開催)	(中村、針谷)
24	健康チャレンジ実行委員会(W e b 開催)	(中村、針谷、斎藤)
25	ぐんま男女共同参画センター運営委員会(書	面開催) (針谷)
30	前橋市消団連幹事会/前橋市消費生活センターとの懇話	淡(中止) (斎藤、八田)
31	医療生協監事世話人会	(針谷、斎藤、八田)

年月日	行事	備考
'20. 9. 2	群馬県消団連幹事会(書面開催)	(斎藤、八田)
"	群馬県消費者大会実行委員会(書面開催)	(斎藤、八田)
6	県連事務局会議	(全員)
8	第3回女性協議会運営委員会(Web併用開催)	(斎藤)
11	群馬県総合防災訓練(延期)	
14	生協大会実行委員会 (Web開催)	(中村、針谷、斎藤)
18	第2回県連理事会(Web開催)	(中村、針谷、斎藤)
21	第2回中央地連運営委員会(Web開催)	(中村、田中、針谷)
27	前橋市消団連幹事会(書面開催)	(斎藤、八田)
29	医療福祉生協監事学習会(Web開催)	(全員)
'21. 10. 1	MCA 無線訓練	(針谷、佐藤)
4	県連事務局会議	(全員)
6	消費者支援群馬ひまわりの会理事会(Web開催)	(中村、斎藤)
7	第5回群馬県消団連幹事会(書面開催)	(斎藤、八田)
"	第4回群馬県消費者大会実行委員会(書面開催)	(斎藤、八田)
"	coop 共済連健康づくり支援企画交流会 (Web開催)	(中村、針谷)
12	生協大会実行委員会 (Web開催)	(中村、針谷、斎藤)
13	第4回女性協議会運営委員会(視察研修会)	(斎藤)
14	第3回ぐんままるごと健康チャレンジ実行委員会	(中村、針谷、斎藤)
21	第 53 回群馬県生協大会(W e b 開催)	(全員)
25	前橋市消団連幹事会	(斎藤、八田)
26	第65回群馬県消費者大会(書面開催)	
29	第3回常務理事会	(中村、針谷)
"	関東甲信越行政生協関係者連絡会	(中村、針谷)

年月日	行	事 備考
'21. 11. 1	県連事務局会議	(全員)
2	医療福祉生協監事世話人会	(針谷、斎藤、八田)
4	群馬県災害時救援ボランティア連絡会議	
"	第6回群馬県消団連幹事会	(斎藤、八田)
5	J C A 全国交流会 (W e b 開催)	(針谷)
10	第5回女性協議会運営委員会	(斎藤)
15	災害ボランティアセンタースタッフ養成	研修 I (針谷)
16	群馬県生協大会実行委員会	(中村、針谷、斎藤)
18	第4回県連理事会(Web併用開催)	(全員)
22	前橋市消団連幹事会	(斎藤、八田)
24	第3回中央地連運営委員会(Web開催	(田中、針谷)
"	中央地連活動推進会議(Web開催)	(針谷)
26	県連災害対策協議会	(針谷、斎藤)
30	ネットワーク産学官連携事業(高崎健康福祉大学&フ	レッセイ) (針谷、斎藤Web参加)
'21. 12. 1	MCA 無線訓練	(佐藤)
"	災害ボランティアセンタースタッフ養成	研修Ⅱ (針谷)
	消費者支援群馬ひまわりの会理事会	(中村、斎藤)
2	第7回群馬県消団連幹事会	(斎藤、八田)
6	県連事務局会議	(全員)
7	ネットワーク産官学連携事業(高崎健康福祉大学&	とりせん) (針谷、斎藤Web参加)
8	第6回女性協議会運営委員会	(斎藤)
9	ネットワーク事業(東洋大学&コープぐんま)(W	e b 開催) (針谷、斎藤)
10	フートピア 21 役職員学習交流会	(全員)
14	第4回ぐんままるごと健康チャレンジ実行委	員会 (中村、針谷、斎藤)
16	第4回常務理事会	(中村、針谷)
"	第1回県連理事会推薦区分役員推薦委員	会 (中村、針谷)
17	中央地連都県連災害対策協議会(W e b	開催) (針谷)
20	前橋市消団連幹事会	(斎藤、八田)
21	利根沼田地区フートピア 21 事務局会議	(針谷)

年月日	行	事備考
'22.1.4	県連事務局会議・(年始あいさつ)	(全員)
11	日本生協連全国方針検討集会(Web	開催) (中村、針谷)
12	第7回女性協議会運営委員会	(斎藤)
13	第8回群馬県消団連幹事会	(斎藤、八田)
17	前橋市消団連幹事会(中止)	
18	第2回組織部会(Web開催)	(中村、針谷、斎藤)
20	第5回県連理事会(Web開催)	(全員)
"	2022年新春交歓会(中止)	
21	JCA幹事長、事務局長会議(Webs	会開催) (針谷)
25	第4回中央地連運営委員会(Web開	催) (田中、針谷)
"	中央地連活動推進会議(Web開催)	(針谷)
'22. 2. 1	県連事務局会議	(全員)
"	MCA 無線訓練	(佐藤)
2	LP ガス協会お客様相談所相談委員会	(中止)
3	第9回群馬県消団連幹事会(資料配布	(のみ)
9	消費者支援群馬ひまわりの会理事会	(中村、斎藤)
"	第8回女性協議会運営委員会(Web	併用) (斎藤)
"	ぐんまボランティアフォーラム(Web	(針谷)
10	第2回中央地連大規模災害対策協議会(	Web開催) (針谷)
17	第5回常務理事会(Web 開催)	(中村、針谷)
"	第2回県連理事会推薦区分役員推薦委員会	(Web 開催) (中村、針谷)
22	第5回ぐんままるごと健康チャレンジ実行委員会	(Web 開催) (中村、針谷、斎藤)
28	前橋市消団連幹事会(資料配布のみ)	
"	中央地連男女共同参画学習会(Web 開	<b>月催)</b> (斎藤)
'22.3.3	第 10 回群馬県消団連幹事会(資料配布	ちのみ) (斎藤、八田)
7	県連事務局会議	(全員)
10	第9回女性協議会運営委員会(Web 開	月催) (斎藤)
15	中央地連社会保障学習会(Web 開催)	(中村、針谷)
17	第6回県連理事会	(全員)
18	ぐんま男女共同参画センター運営委員	会 (針谷)
"	医療生協非常勤理事研修交流会(We	b 開催) (全員)
23	第5回中央地連運営委員会(Web開	催) (中村、針谷)
"	日本生協連地区別·総会議案検討会議(	Web開催) (中村、針谷)
28	前橋市消団連幹事会	(斎藤、八田)

# 2022年度のうごき (参考)

年月日	行	事	備考
'22.4.1	MCA無線訓練		(佐藤)
4	   県連事務局会議		(全員)
6	消費者支援群馬ひまわりの会理事	会	(中村、斎藤)
7	第11回群馬県消団連幹事会		(斎藤、八田)
13	第10回女性協議会運営委員会		(斎藤、山口、針谷)
15	第1回災害対策協議会		(針谷、山口)
20	群馬県農業再生協議会通常総会		(中村)
21	第5回常務理事会		(中村、針谷、山口)
"	第3回県連理事会推薦区分役員推薦	<b>蕙委員会</b>	(中村、針谷、山口)
"	行政生協懇談会 (延期)		
25	前橋市消団連幹事会		(斎藤、八田)
'22.5.2	県連事務局会議		(全員)
11	第 11 回女性協議会運営委員会		(山口)
12	第12回群馬県消団連幹事会		(山口、八田)
"	監査会、県連監査		(針谷)
18	前橋工科大学生協総代会		於:メイビットホール
19	第6回理事会(Web 開催)		(全員)
21	群馬大学生協総代会		於:大学館ミューズホール
23	前橋市消費者団体連絡会総会		於:群馬県勤労福祉センター
24	第1回ぐんままるごと健康チャレンジラ	第1回ぐんままるごと健康チャレンジ実行委員会	
25	高崎経済大学総代会		於:三扇会館
26	群馬県消費者団体連絡会議総会		於:群馬県勤労福祉センター
31	太田情報・医療・自動車専門学校生	生協総代会	於:情報校オレンジホール
'22. 6. 1	MCA無線訓練(中止)		
2	第1回群馬県消団連幹事会		(山口、八田)
6	県連事務局会議		(全員)
8	第12回女性協議会運営委員会		(山口)
10	日本医療福祉生協連総会		
11	よつ葉生協総代会		於:小山市立文化センター
"	生活クラブ生協総代会		於:男女共同参画センター
15	コ-プ ぐんま総代会		於:伊勢崎市文化会館
"	パルシステム群馬生協総代会		於:エテルナ高崎
16	第 63 回群馬県生活協同組合連合会	通常総会	於:前橋テルサ

# 永年勤続者表彰

生 協 名		30年		15年
コープぐんま	服部 康明	(コープ中野店)	田尻 友美	(コープ中野店)
	淡路 剛	(コープ宮子店)	石井 晴美	(コープ寺尾店)
	宮﨑 浩幸	(コープ宮子店)	萩原 忠良	(太田センター)
	鏑木 泰一	(太田センター)	吉井 道浩	(前橋センター)
	橋爪 弘志	(沼田センター)	浅沼 勲一	(前橋センター)
	塩士 雅明	(沼田センター)	狩野 耕起	(北部センター)
	下城 充弘	(高崎センター)	内林 光行	(富岡センター)
	松森 久仁子	(管理部)	中澤 秀紀	(高崎センター)
	清水 祐之	(総合企画室)	野口 文江	(共済部)
	金沢 司	(総合企画室)	長山 小百合	(コープ新井店)
	山田 規夫	(連合会出向)	関根 久美子	(コープ新井店)
	中村 進	(店舗事業部)	福島 あけみ	(コープ宮子店)
	鹿沼 明美	(桐生センター)	金井 京子	(コープ宮子店)
	長堀 弥生	(総合企画室)	堀米 澄	(コープ藤岡店)
			富沢 昌子	(コープ藤岡店)
			森 英子	(コープ藤岡店)
			岩田 直子	(コープ藤岡店)
			大澤 文子	(コープ藤岡店)
			温井 英子	(コープ藤岡店)
			茂木 聖代	(コープ藤岡店)
			坂本 哉子	(コープ藤岡店)
			柳澤 美鈴	(コープ藤岡店)
			榎本 ゆかり	(コープ藤岡店)
			斉藤 真理子	(コープ藤岡店)
			永井 貴子	(桐生センター)
			雨宮 恵美子	(前橋センター)
			木村 史子	(北部センター)
			松井 明美	(沼田センター)
			広川 富代	(藤岡センター)
			原 純子	(藤岡センター)
			須永 敬子	(藤岡センター)
			相川 まゆみ	(高崎センター)
			上遠野さゆり	) (共済部)
			川邊 裕子	(管理部)
			杉本 佐登美	(宅配事業部)

生 協 名	3 0 年	15年
パルシステム群馬		新井 照美 (高崎センター) 石関 保法 (渋川センター) 加藤 美佐子 (東毛センター) 中野 まゆみ (東毛センター) 田中 由利子 (東毛センター) 高橋 智宏 (組織運営部)
こくみん共済 coop 群馬推進本部	森川 由美子 (事業推進課)	
県 庁 生 協	横堀 さをり (総務課)	
群馬中央医療生協	小田切 真紀 (看護師) 越替 由紀 (看護師) 新井 譲 (事務員)	金子 久美子 (介護福祉士) 工藤 朝香 (看護師) 石坂 康吉 (診療放射線技師) 高橋 有理子 (介護福祉士) 坂本 美絵 (看護師) 高橋 ひろみ (ヘルパー1級) 吉田 京子 (看護師) 齋藤 耕一郎 (医師) 真原 豊 (理学療法士) 北原 望 (管理栄養士) 大嶋 祐子 (看護師) 五十嵐 いく代(看護師)
利根保健生協	大木 真由美 (事務員)         片野 美恵子 (看護師)         金古 亜矢 (看護師)         土澤 洋子 (助産師師長)         西藤 恵理子 (看護師)         布施 正子 (看護師部長)         米山 美紀 (看護師)         渡部 日出代 (看護師)	市川 美紀 (看護師) 鹿野 亜莉紗 (看護師副主任) 小林 菜美 (歯科衛生士) 塩野 愛惟 (看護師師長) 志賀 聡子 (看護師) 高野 宏子 (看護師) 戸部 紀子 (薬剤師) 南雲 佳奈 (看護師) 南雲 佳奈 (看護師) 原澤 聖 (看護師) 原澤 聖 (看護師) 原澤 聖 (看護師) 本多 育子 (看護師) 本多 育子 (看護師) 本多 育子 (看護師) 本多 育子 (素) 森田 絵美 (薬剤師) 山本 典子 (季)

生 協 名	3 0 年	15年	
はるな生協	小林 正則 (医師) 田中 もとみ (事務)	川崎 素代 (看護師) 清水 恭子 (社会福祉士) 塚田 純一 (社会福祉士主事) 小林 文 (事務員)	
北毛保健生協	矢島 美和 (准看護師)	小池 ちえ子 (看護師) 相田 智子 (准看護師) 木暮 まなみ (看護師) 伸澤 恭子 (看護師) 佐藤 友子 (看護助手)	

# I 事業報告書 (2021年度)

#### 1 連合会の事業活動の概況に関する事項

#### (1) 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

主要な事業活動は、①会員の指導、連絡及び調整に関する事業、②会員及び会員の組合員の生活の改善及び文化の向上を計る事業、③会員、会員の組合員及び従業員、並びに会の従業員の会の事業に関する知識の向上を図る事業などである。

#### (2) 連合会の事業の経過及びその成果

議案書「第1号議案 2021年度の活動のまとめ」を参照

#### (3) 直前3事業年度の財産および損益の状況

(単位:円)

項目	2018 年度	2019 年度	2020年度	2021 年度
会員生協数	15 生協	15 生協	15 生協	15 生協
出資金額	4,977,000	4,977,000	4,977,000	4,977,000
会 費 収 入	18,792,400	19,297,200	19,781,100	20,204,500
特別会費	3,435,000	1,335,000	2,594,441	0
経常剰余金	△ 576,457	410,312	1,587,480	3,018,436
当期剰余金	△ 671,657	328,912	1,253,480	2,343,936
総資産	22,276,234	22,560,717	23,869,296	26,269,192
純資産	20,387,591	20,716,503	21,969,983	24,313,919

#### 2 連合会の運営組織の状況に関する事項

#### (1) 前事業年度における総会の開催状況に関する事項

- ① 開催日時: 2021年6月17日(木) 9時58分~10時51分
- ② 出席した組合員の数:代議員総数54名のうち54名(本人出席5名、代理出席0名、書面出席49名)が出席した。
- ③ 重要の事項の議決状況
  - 第1号議案「2020年度事業報告及び決算関係書類承認の件」は出席代議員の過半数の賛成により原案通り可決決定した。
  - 第2号議案「2021年度事業計画及び予算決定の件」は出席代議員の過半数の賛成により 原案通り可決決定した。

- 第3号議案「定款の一部改定の件」は出席代議員の三分の二以上の賛成により原案通り可決 決定した。
- 第4号議案「諸規約の制定及び一部改定の件」は出席代議員の過半数の賛成により原案通り 可決決定した。
- 第5号議案「役員補充選任の件」は出席代議員の過半数の賛成により原案通り可決決定した。
- 第6号議案「役員報酬総額承認の件」は過半数の賛成により原案通り可決決定した。
- 第7号議案「議案決議効力発生の件」は出席代議員の過半数の賛成により原案通り可決決定 した。

# (2) 会員に関する事項

会員生協出資金等増減表

区分	会員数 (生協)	口数	出資金総額 (円)
前期末現在	15	4,977	4,977,000
当 期 増 加 分	0	0	0
当期減少分	0	0	0
当 期 末 現 在	15	4,977	4,977,000

### (3) 役員に関する事項

一段界に関する。			
氏 名	役 職		その他の事実
中村 隆夫	会長理事	2018年就任	コープぐんま理事長
吉 田 登	副会長理事	2016年就任	こくみん共済 coop 群馬推進本部本部長
関 沼 光 好	副会長理事	2018年就任	はるな生協専務理事
田 中 利恵子	副会長理事	2020年就任	県連女性協議会会長・コープぐんま全域理事
針 谷 勉	専務理事	2020年就任	
小 澤 厚	常務理事	2016年就任	北毛保健生協専務理事
今 井 英 明	常務理事	2021年就任	群馬県庁生協常務理事
中嶋義幸	常務理事	2006年就任	パルシステム群馬専務理事
反 町 幸 代	理事	2014年就任	パルシステム群馬理事長
大 熊 祐 子	理事	2021年就任	生活クラブ生協副理事長
大 貫 晴 雄	理事	2020年就任	コープぐんま専務理事
木 榑 千恵子	理事	2020年就任	コープぐんま全域理事
小 暮 孝	理事	2020年就任	群馬県学校生協常勤理事
丸山智晴	理事	2021 年就任	群馬大学生協専務理事·太田情報· 医療·自動車専門学校生協専務理事
樽 井 豊	理事	2021年就任	高 崎 経 済 大 学 生 協 専 務 理 事·前 橋 工 科 大 学 生 協 理 事

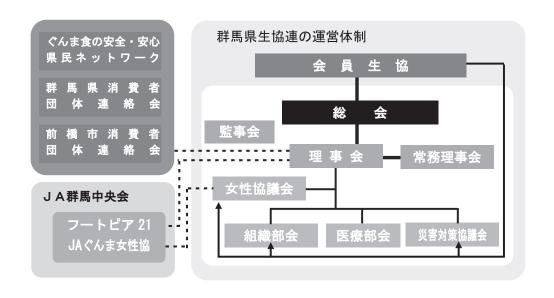
氏 名	役 職		その他の事実
原 澤 裕	理事	2020年就任	利 根 保 健 生 協 専 務 理 事
長谷川 敦子	理事	2020年就任	群馬中央医療生協専務理事
大小原 里美	監 事	2021年就任	パルシステム群馬監事
山端 佐代子	監 事	2020年就任	コープぐんま監事
石沢 奈緒子	監 事	2020年就任	群馬中央医療生協理事

# (4) 職員の数及びその増減その他職員の状況

区分	前期末数	当期末数
正規職員	0	0
定時職員	2	2

### (5) 業務の運営の組織に関する事項

組織図



# (6) 施設の設置状況に関する事項

主たる事務所:群馬県前橋市大友町1-13-12

# Ⅱ 事業報告書の附属明細書

# 1 役員報酬等の状況

(単位:円)

区分		分	金額
理	事	常	4,800,000 1,888,000
		合 計	6,688,000

# 2 役員の他の法人等の業務執行者の兼務の状況

「役員に関する事項」で表示している通りである。

# 3 連合会と役員との間の取引等

役員との間の取引及び第三者との取引で当該連合会と役員との利益が相反するものはない。

### 4 その他事業報告書の内容を補足する重要な事項

該当する事項はない。

# Ⅲ 決算関係書類

貸借対照表

# 群馬県生活協同組合連合会

(2022年3月20日現在)(単位:円)

資産の部	金額	負債の部	金額
流動資産	22,437,192	流動負債	1,955,273
現金	553,018	未払費用	1,351,473
普通預金	12,126,373	未払法人税等	603,800
定期預金	9,147,430		
未収入金	610,371	負債合計	<u>1,955,273</u>
その他固定資産	3,832,000	純資産の部	金 額
関係団体出資金	3,832,000	会員資本	24,313,919
		出資金	4,977,000
		剰 余 金	19,336,919
		法定準備金	6,340,000
		経営支援積立金	2,500,000
		災害対策積立金	3,000,000
		特別事業積立金	4,000,000
		当期未処分剰余金	3,496,919
		(うち当期剰余金額)	(2,343,936)
		純資産合計	24,313,919
資産合計	26,269,192	負債・純資産合計	26,269,192

# 損益計算書

**群馬県生活協同組合連合会** (自 2021 年 3 月 21 日 至 2022 年 3 月 20 日)(単位:円)

HI VIII ZIA WIII VIIZ A VE A PI		
科目	金	額
会費等事業収入		
会費収入		<u>20,204,500</u>
事業経費		
人件費	11,069,665	
物件費	<u>5,921,144</u>	16,990,809
事業剰余金額		3,213,691
事業外収益		
受取利息	371	
受取配当金	65,862	
雑収入	6,612	<u>72,845</u>
事業外費用		
雑損失		<u>268,100</u>
経常剰余金額		3,018,436
税引前当期剰余金額		3,018,436
法人税等		674,500
当期剰余金額		2,343,936
当期首繰越剰余金		<u>1,152,983</u>
当期未処分剰余金		3,496,919

### 決算関係書類に関する注記

#### 1 重要な会計方針に係る事項に関する事項に関する注記

(1) 収益及び費用の計上基準 消費税の会計処理は内税方式を採用している。

### 2 貸借対照表に関する注記

(1) 当期末剰余金 3,496,919 円の中には教育事業等繰越金 300,000 円が含まれている。

## 3 損益計算書に関する注記

(1) 法人税等には、住民税(県民税・市民税)が含まれている。

### 4 リースにより使用する固定資産に関する注記

中小企業の会計に関する指針によって記載している。

(単位:円)

種 類	内 容	総額	年間リース料	未経過リース料
器具備品	オフィス電話 (2015 年 1 月取得) 429,192	53,649	53,649	0
器具備品	複合機(カラー) (2017 年 3 月取得) 907,200	196,560	181,440	15,120
ソフトウェア	おりこうブログ (2017年10月取得) 1,049,760	349, 920	209,952	139,968
器具備品	大型プリンター (2019年12月取得) 166,320	97,020	55,440	41,580
合 計		697,149	500,481	196,668

# IV 決算関係書類の附属明細書

1 会員資本の明細 (単位:円)

区分	期首残高	当期增加額	当期減少額	期末残高
出 資 金	4,977,000	0	0	4,977,000
法 定 準 備 金	6,340,000	0	0	6,340,000
任 意 積 立 金	2,117,743	0	2,117,743	0
7 0 周年事業積立金	2,882,000	0	2,882,000	0
経営支援積立金	0	2,500,000	0	2,500,000
災害対策積立金	0	3,000,000	0	3,000,000
特別事業積立金	0	4,000,000	0	4,000,000
当期未処分剰余金	5,653,240	2,346,936	4,500,257	3,496,919
合 計	21,969,983	11,843,936	9,500,000	24,313,919

# 2 関係団体出資金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期增加額	当期減少額	期末残高
日 本 生 協 連	1,870,000	0	0	1,870,000
中 央 労 金	1,812,000	0	0	1,812,000
賀川記念教育協会	150,000	0	0	150,000
合 計	3,832,000	0	0	3,832,000

3 事業経貨の明細 科 目		金額
		亚 1代
1. 人件費		
役 員 報	西州	6,688,000
定時職員給	与	3,755,839
法 定 福 利	費	625,613
福利厚生	費	213
人 件 費 計		11,069,665
2. 物件費		
教 育 文 化	費	1,275,313
会議	費	1,009,972
調査研究	費	181,616
旅費交通	費	44,112
消 耗 品	費	553,996
通信	費	473,757
委託	料	15,112
広 報	費	80,000
諸 会	費	331,175
涉外	費	6,252
水道光熱	費	190,347
	費	215,521
リース	料	500,483
地 代 家	賃	1,008,000
維	費	35,490
物 件 費 計		5,921,144
事業経費合計		16,990,809

# 4 その他決算関係書類の内容を補足する重要な事項

# (1) 主要な事業に係る資産の内容

①現金預金の明細 (単位:円)

	科	目		内	ı訳	期首残高	期末残高	当期増減額
現	金	預	金	現	金	344,143	553,018	208,875
				普通	預 金	10,537,156	12,126,373	1,589,217
				定期	預 金	9,147,215	9,147,430	215
	É	ì		計		20,028,514	21,826,821	1,798,307

②未収入金の明細 (単位:円)

内訳	金額
事務受託費(ぐんままるごと健康チャレンジ 2020)	575,947
事務受託費(食の安全・安心県民ネットワーク)	34,424
合 計	610,371

# (2) 主要な事業に係る負債の内容

①未払費用の明細 (単位:円)

内訳	金額
人件費(3月分)	869,075
総会議案書印刷代・会場代仮計上額	220,000
通信費(電話・メール便・無線等)	120,001
コピーカウント料・用紙代(2、3月分)	112,406
事務用消耗品(事務用消耗品2月分)	2,486
水光熱費(電気・水道・ガス)	21,599
その他	5,906
合 計	1,351,473

# ②未払法人税等の明細 (単位:円)

内 訳	金額
法人税 令和 3 年度分	433,800
地方法人税 令和 3 年度分	46,300
県民税 令和3年度分	25,900
市民税 令和3年度分	97,800
合 計	603,800

# (3) 出資金の内訳

(単位:円)

会員生協	口数	金 額
生活協同組合コープぐんま	1,485 口	1,485,000
生活クラブ生活協同組合	30 □	30,000
生活協同組合パルシステム群馬	65 □	65,000
群馬県庁生活協同組合	182 口	182,000
群馬県学校生活協同組合	94 □	94,000
群馬大学生活協同組合	142 □	142,000
高崎経済大学生活協同組合	27 □	27,000
太田情報·医療·自動車専門学校 生活協同組合	10 口	10,000
前橋工科大学生活協同組合	10 口	10,000
利根保健生活協同組合	510 □	510,000
北毛保健生活協同組合	286 口	286,000
群馬中央医療生活協同組合	588 口	588,000
はるな生活協同組合	274 □	274,000
こくみん共済 coop 群馬推進本部	1,274 □	1,274,000
合 計	4,977 □	4,977,000

# (4) 会費の内訳

(単位:円)

会 員 生 協	会費
生活協同組合コープぐんま	10,733,500
生活クラブ生活協同組合	140,100
生活協同組合パルシステム群馬	1,523,300
群馬県庁生活協同組合	191,800
群馬県学校生活協同組合	180,700
群馬大学生活協同組合	298,000
高崎経済大学生活協同組合	137,900
太田情報·医療·自動車専門 学校生活協同組合	29,900
前橋工科大学生活協同組合	33,400
利根保健生活協同組合	2,485,900
北毛保健生活協同組合	854,600
群馬中央医療生活協同組合	1,381,900
はるな生活協同組合	919,000
こくみん共済 coop 群馬推進本部	1,194,500
よつ葉生協 (準会員)	100,000
合 計	20,204,500

#### 剰余金処分案

(単位:円)

I 当期未処分剰余金 3,496,919

Ⅱ 剰余金処分額

1. 任意積立金

(1) 経営支援積立金(2) 災害対策積立金500, 000500, 000

(3) 特別事業積立金 500, 000 <u>1, 500, 000</u>

Ⅲ 次期繰越剰余金 1, 996, 919

### <剰余金処分案について>

#### Ⅱ 任意積立金

経営支援積立金、特別事業積立金、災害対策積立金を積み増しします。

### Ⅲ 剰余金処分額

#### 1. 任意積立金

#### (1) 経営支援積立金

会員生協のやむを得ない事情により会費減額や会費を納めることが出来ない場合に、県連の収入を補う場合に備え積み立てます。

今期は500.000円を積み立てます。3.000.000円となります。

#### (2) 災害対策積立金

災害時の事業再建費用及び各種支援活動費用(支援物資の提供含む)を計上した場合に備え積み立てます。尚、災害には自然災害、人為的要因からなる災害の他、社会生活や人命に被害がおよぶ感染症の蔓延などを含みます。

今期は500.000円を積み立てます。3.500.000円となります。

#### (3) 特別事業積立金

特別事業積立金は、記念事業として行う講演会、レセプション等の開催費用、記念誌の発行の他、協同組合フェスティバル等の開催費用を計上した場合に備え積み立てます。今期は500,000円を積み立てます。4,500,000円となります。

#### Ⅳ 次期繰越剰余金

次期繰越剰余金 1.996.919 円には、教育事業等繰越金の 300.000 円を含みます。

以上の通り提案します。 2022年6月16日

代表理事 会長理事 中村 隆夫